

交通安全活動が評価され、 内閣府特命大臣表彰受賞！



長年の交通安全活動の功労をたたえ、9月5日(木)、東京・霞が関ビルで開かれた平成25年度交通安全功労者表彰式で、伴敬二郎さん(朽木)が内閣府特命大臣表彰を受賞されました。

伴さんは、昭和50年から高島交通安全協会に所属し、長年にわたり、地域にお

ける交通安全啓発活動に熱心に取り組まれ、その間、高島交通安全協会朽木支部長、常任理事などの要職を務められました。

また、交通安全協会のパトロール隊員として活動されているほか、子ども自転車大会などの活動を通じて、小学校の児童に自転車の正しい乗り方や交通ルールの指導を行うなど、現在でも、交通安全推進の第一線で活躍されています。(交通対策課)

子どもの心つかむコツ学ぶ

子どもの体験活動サポーター養成講座

子どもの体験活動サポーター養成講座を開講しました。9月8日(日)に、第2回目として「対象に応じたレクリエーション!!」を安曇川公民館で開催しました。彦根市荒神山自然の家の職員の方を講師に迎え、レクリエーションを通じて、子どもの心をひきつけるコツやポイントなどを教えてもらいました。参加者の皆さんは楽しく実技をされていました。

市では、サポーターバンクを設置し、子どもたちの体験活動をサポートする講師の先生や活動補助をしていただく方を派遣しています。詳しくは市のホームページをご覧ください。(青少年課)



財団法人 高島地域地場産業振興センター(JR新旭駅西側)が、9月30日をもって解散しました。センターは、高島地域の地場産業である繊維や扇骨の健全な育成と活力ある地域経済社会の形成を目的に、昭和63年4月にオープンし、今日まで、販路開拓をはじめ地場産業の振興と発展に努めてきま

「地場産センター」が 解散しました

した。しかし、海外製品の輸入の増加や生活スタイルの変化など、地場産業を取り巻く環境が大きく変化し、運営が困難になりました。法人の解散に伴い、センターの土地建物のほか所有する財産は、高島市が引き継ぎます。市では、今後(仮称)高島市産業交流センターとして、地域産業の振興と市の課題解決のために、施設を有効に活用していきます。

また、建物や設備の部分改修を行うため、当面、閉館をします。ご迷惑をお掛けしますが、ご了承ください。なお、施設改修後の施設利用については、決まり次第、広報誌などでお知らせします。

商工振興課
(25)8514

とき 11月23日(土) 10時~15時

ところ 今津総合運動公園内(サンルーフ今津ほか)

【展示・出店等】

企業展、農畜産物・加工品の展示即売、観光PR、漁師の賄い料理(マスめし、シジミ汁)、伝統産業実演会(和ろうそく・雲平筆・扇子)、高島市農産ブランド・わが家の自慢農産物即売など

【体験】

そば打ち、餅つき、竹紙すき、ピワマスの新商品開発成果PR、木の家作り、草木染め体験

【お楽しみイベント】

そばの早食い、スタンプラリー、大鍋でつくる発酵汁、みんなでつくるうジャンボ巻き寿司作り体験

【写真展】

近江今津そばフォトコンテスト

【販売】

近隣交流地域の出店、友好交流都市の物産展、地元特産品の即売、とびだせヒット商品

【その他】

防犯キャンペーン、着ぐるみ巡回、あど川ふじ太鼓など

同時開催 第37回 高島農業振興大会 山下惣一講演会

日本の医療は日々進歩しているはずなのに、何故病気は増え続けるのか。健康のもと「食」、その食の原点は「農」にあり。自らも農業に従事し、人間はその土地で育ったものを食べて生活するのが最善とする「身土不二」という考え方を主張されている農作家の山下氏を迎え、本当の意味の「地産地消」を考えます。

- 時間 13時~15時
- 会場 体験交流センターゆめの2階
- 内容 基調講演「病気大国ニッポンを考える 食と農と健康の行方」
- 入場料 無料

問 高島地域農業センター ☎(22)3178

山下 惣一さん



問 高島市産業連携推進協議会(高島市商工会) ☎(32)1580

高島で暮らそう!
若者定住促進プロジェクト

空き家所有者の皆さんへ

貸したい・売りたい「空き家」
情報をどしどしお寄せください!!

今回も「空き家活用相談会」は土曜日開催!

市内への若者の移住を進めるため、空き家の所有者が空き家の活用を気軽に相談できる場として、空き家活用相談会を開催します。

日時 11月9日(土) 10時~12時

※予約いただいた方を優先します。

場所

今津会場 ▶ 今津東コミュニティセンター
新旭会場 ▶ 新旭公民館
安曇川会場 ▶ 安曇川公民館

問「高島市空き家活用促進協議会」事務局(市民活動支援課) ☎(25)8526